

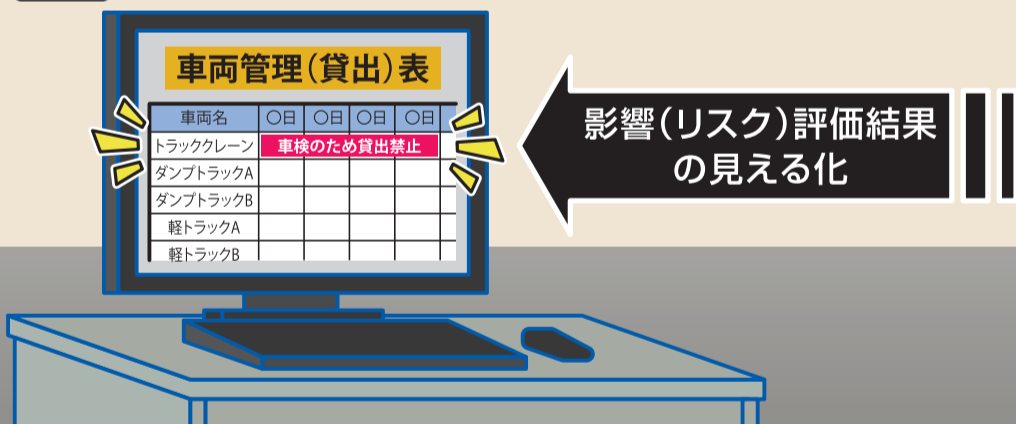
エラーを引起す状況 ③

変更

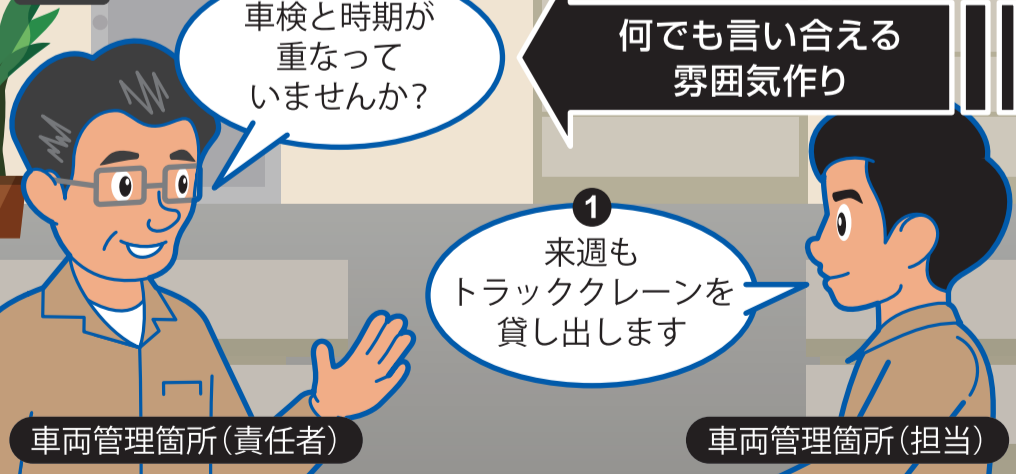


対策

対策1



対策2



解説

どのような状況で起きる?

- ・方法、環境、設備、期間、資機材、要員等を変更するとき
- ・とくに、工程や手順、材料等を現場の判断で変更する場合

どのような影響を受ける?

- ・変更することに注意が向けられ、影響(リスク)の評価が不足する
- ・とくに、自分の担当業務以外に対する影響(リスク)評価が不足する

どのように防ぐ?

- ①責任者および関係者を交えた影響(リスク)評価
- ②影響(リスク)評価結果の共有(見える化)
- ③ヒューマンパフォーマンスツール(例：事前打合せ)の活用
- ④何でも言い合える雰囲気作り(不安・疑問の表明等)
- ⑤上司・ベテラン社員による監督・指導等

これまでのやり方を変えるときは特に要注意! まず、決まりごとの背景、根拠および変更内容を正しく理解することが大切なんじゃ。予防のためのヒューマンパフォーマンスツールの活用もお忘れなく!



Dr.ジャン・シー

「エラーを引起す状況」は、人間がエラー起こしやすくなる職場に潜む好ましくない状況であり、それに気付いて排除することにより、エラー発生の未然防止につなげることができます。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しています。

